学校番号	3017

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	文系 前期１ 後期２ 理系 前期１ 後期１	年次	2年次
校内名称	古典			ユニット数	前期 2.5 後期 文系3 理系 1.5	必選別	必
使用教科書	改訂版　古典Ｂ　古文編・漢文編（数研出版）						
副教材等	体系古典文法（数研出版）、精選漢文（尚文出版）、力をつける古典ステップ２．５（数研出版）、トータルサポート新国語便覧（大修館書店）、LOOK@古文単語３３７（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典は偉大な先人達の、歴史の波に揉まれながらも残った素晴らしい言葉であり、現代の我々が読んで未来への糧とするものである。いろいろな感想を持ちつつ様々な価値観を知り、人間について深く考えてほしい。
予習…音読して本文を写し、辞書・文法書・漢文学習書などを使って訳してみる。完全な訳でなくていいので、「どこが分からな　いのか」「何がわかれば訳せるのか」を把握しておく。
授業…集中して授業に参加し、自分の頭で考え、板書していなくても必要なことはノートに書く。
復習…その日のうちに、ノートを見ながら内容を確認し本文を音読する。しばらく経ってからまたノートを見返して、重要事項の確認や音読をする。
　音読や暗唱をすることは、古典のリズムや言語感覚を身体で捉えることに繋がり、読解のための一番の近道となる。また辞書は、言葉の持つそれぞれの歴史や物語を覗くことができ、教養を深めるために大切である。初めは面倒に感じても、音読や辞書を引くことを習慣にしてしまおう。

2　学習の到達目標

【古文】一年ですでに必要な文法事項はほぼ習得している。それらを使ってさらに読解を進め、重要単語をしっかりと覚えていくことによって、初見でも古文を読める力をつけていく。
【漢文】漢文の句形も主なものは学んだので、２年生では残りの句形を学習し、多くの漢文に触れていく。難読漢字が多いことが漢文を難しく感じさせているが、多くの漢文に触れ、読み慣れることによって、徐々に文章の内容を把握できるようになってくる。

観点	a:関心･意欲･態度	d:読む能力	e:知識･理解
観点の趣旨	言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ようとしている。	文章を的確に読みとり、自分の考えを深め、発展させている。	言語や古典文学について理解し、知識を身につけている。
評価方法	授業態度、提出物	定期考査、小テスト	定期考査、小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめる。
評価点の割合は、考査点９０％程度、平常点１０％程度である。

4　学習の活動

期間	単元名	学習内容(授業教材)		主な評価の観点			単元(題材)の評価基準	評価方法
		文理学科 2.5ユニット		a	d	e		
前期中間考査まで	文章読解①	【古文】 十訓抄「大江山」 伊勢物語「渚の院」 方丈記「ゆく河の流れ」 【漢文】 韓非子「買履忘度」　世説新語「華歆・王朗」 説苑「江南橘為江北枳」		○		○	a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 e：文法知識を覚えている。	授業態度、提出物、定期考査
前期期末考査まで	文章読解②	【古文】 大鏡「花山天皇の出家」 枕草子「大納言参り給ひて」 【漢文】 孟子「不忍人之心」 荀子「性悪」 老子「小国寡民」		○	○		a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 ｄ：習得した文法知識、句形を使い文を読むとはどういうことかを理解している。	授業態度、提出物、定期考査、小テスト
		文理学科文科 3ユニット	文理学科理科 1.5ユニット					
後期中間考査まで	文章読解③	【古文】 源氏物語 「光源氏の誕生」 更級日記 「東路の道の果て」 「物語」 【漢文】 史記 「鴻門之会」	【古文】 源氏物語 「光源氏の誕生」 【漢文】 史記 「鴻門之会」	○		○	a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 e：文法知識を覚えている。	授業態度、提出物、定期考査、小テスト
後期期末考査まで	文章読解④	【古文】 源氏物語 「小柴垣のもと」 【漢文】 史記 「四面楚歌」 「項王自刎」	【古文】 源氏物語 「小柴垣のもと」 【漢文】 史記 「四面楚歌」	○		○	a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 e：文法知識を覚えている。	**授業態度、提出物、定期考査、小テスト**

※　表中の観点について　　a ：関心・意欲・態度　　d ：読む能力　　e ：知識・理解

※原則として一つの単元（題材）に取り組む毎に全ての観点で評価するが、それぞれでとりわけ重点的に評価を行う観点に○をつけている。なお、上記以外で試験範囲を追加する場合がある。